

# クリスマスフェスティバル 2025

## を開催しました



～「光と闇」 演じ切る～ 12月17日 右京ふれあい文化会館 ホール

「ハートフルトボス・クリスマスフェスティバル2025」は2025年12月17日、京都市右京区の右京ふれあい文化会館ホールで開催されました。聖書劇をはじめ、入居者による体験談、さらには世界的なゴスペルシンガーのコンサートと盛りだくさんの内容で、全430席を埋め尽くした観客は厳かな雰囲気と感動に包まれました。

同フェスは法人設立当初から続いています、次第に規模も大きくなり、同会館ホールでの開

催は今回で10回目となりました。イエス・キリストの降誕をお祝いするのはもちろん、最大の目的は精神障害者の実情を多くの人たちに知っていただくことにあります。

彼らが自立して生きていくためには、地域住民の理解が欠かせません。そこで日ごろの努力の成果を聖書劇の形で披露してきましたが、予約の電話でも「劇がとても素晴らしいので、今回もぜひ観たい」とのお声を多くちょうだいし、認知度の高まりを感じています。

### ペテロとユダの葛藤

### キリストの愛の前で迷う弟子の姿描く

今回の聖書劇は「光と闇」と題し、入居者と職員合せて40人が熱演を繰り広げました。人の心には光と闇が存在します。それ故に生まれる苦悩をペテロとユダという二つの異なる視点から描きました。

光が輝きを増すほど、闇もさらに深くなっていく。逆もまた真なりと言えます。入居者の体験談では深い絶望の底から希望を見出していつ

た様が入居者自身の言葉で語られ、静かな感動を広げました。

第二部のコンサートでは、ティム・ケプラー、ジョン・フルカー、リオネシア・マクグリフという3人のゴスペルシンガーが出演しました。いずれも素晴らしい歌声で、クリスマスらしい荘厳かつ心楽しくなる曲を披露し、来場者を楽しませました。